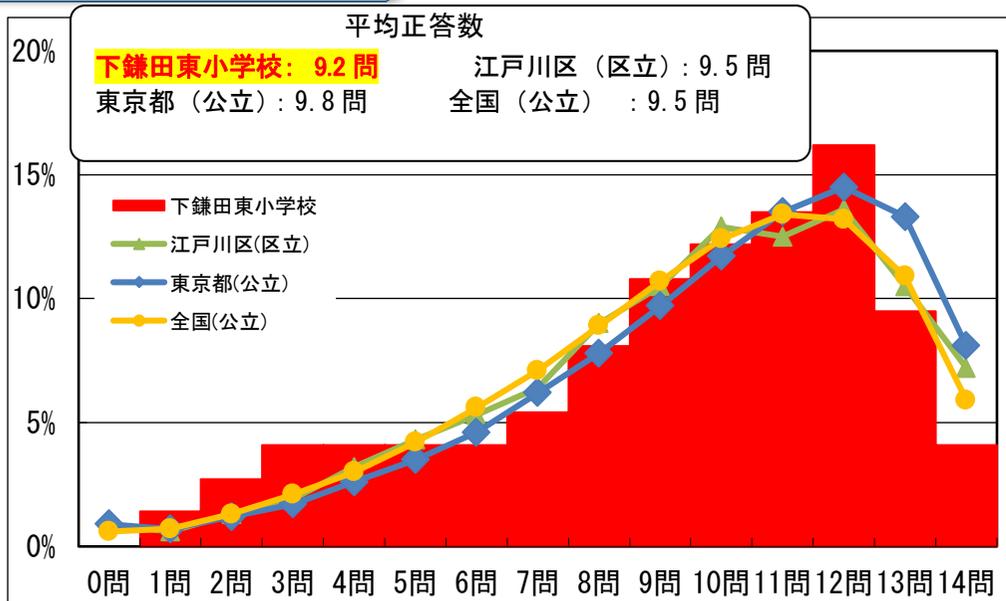


令和6年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【国語】 下鎌田東小学校

正答数分布



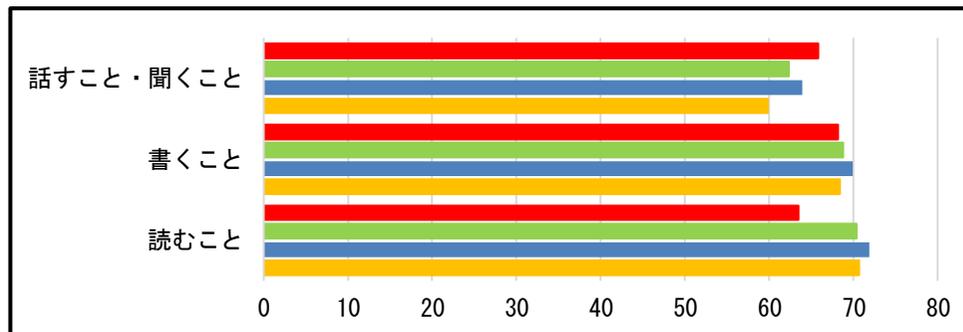
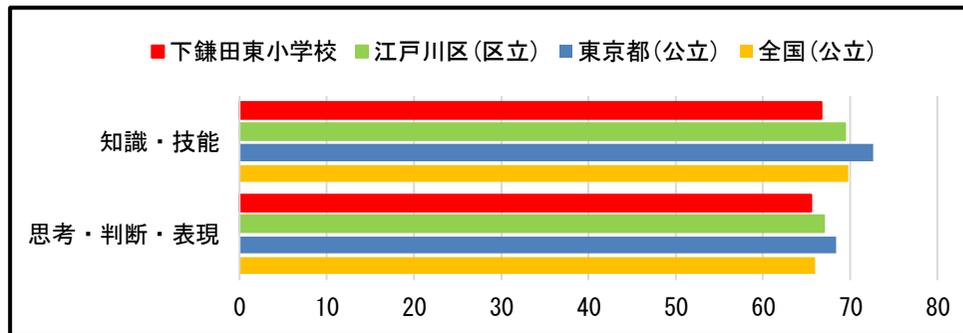
<四分位における割合(都全体の四分位による)>

上位 ← → 下位

国語	A層 12~14問	B層 10~11問	C層 8~9問	D層 0~7問
下鎌田東小学校	29.7	25.7	18.9	25.7
江戸川区 (区立)	31.3	25.4	19.5	23.8
東京都 (公立)	35.9	25.2	17.5	21.4
全国 (公立)	30.0	25.8	19.6	24.6

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、児童数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。上の表では、四分位によって児童をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の児童の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。

「領域別」の結果



【平均正答率の差】

下鎌田東小学校	66%
江戸川区 (区立)	68%
東京都 (公立)	70%
全国 (公立)	67.7%
都との差	2ポイント

%

【分析結果と授業改善に向けて】

【分析結果】

- ・「話すこと・聞くこと」領域は全国平均正答率を6%上回り、「書くこと」領域は全国平均とほぼ同じであった。しかし「読むこと」領域は正答率が低く、全国平均を7.2%下回った。特に「描写を基に物語の内容を捉える問題」の正答率が低かった。

【授業改善に向けて】

- ・文節を区切るなど、主述関係を捉えることを意識して文章を読ませる。
- ・読書の時間を充実させ、文章を読む経験をさせる。
- ・文章の内容を正しく読み取るために、文章中の重要な語句をキーワードで捉える指導を繰り返して行う。